

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局： TBS	番組名：報道特集	放送日： 2018 年 5 月 26 日
出演者：日下部正樹、膳場貴子、金平茂紀、竹内明		
検証テーマ：米朝首脳会談、オープニング、森友・加計学園問題、日ロ首脳会談		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米朝首脳会談</li> <li>・オープニング</li> <li>・日大アメフト部</li> <li>・【速報】加計学園がコメント「首相との面会なかった」</li> <li>・長野で震度 5 強</li> <li>・Amazon の AI スピーカーが誤動作</li> <li>・夕張メロン初セリ</li> <li>・九州南部梅雨入り</li> <li>・日ロ首脳会談</li> <li>・皇太子ご夫妻「みどりの愛護」式典へ</li> <li>・東京五輪会場でサーフィン大会</li> <li>・【特集】加計学園</li> <li>・【特集】ミツバチの危機</li> <li>・スポーツ情報</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米朝首脳会談→結論：特に問題なし <p>北朝鮮が非核化への意思を示す狙いで海外のメディアに公開した核実験場の坑道の爆破したこと、その最中の 24 日トランプ大統領は金党委員長に宛てた書簡で米朝首脳会談の中止を表明したことが報じられるとともに、これが昨日には一転してトランプ大統領が会談が行われる可能性を示唆したことや協議を継続していること、シンガポールの地元新聞が警察官に出されていた休暇の取得制限が解除された後に復活し警備体制が維持されることとなった、など米朝首脳会談が復活する可能性があることについても伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 180 秒で、放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。</p> </li> <li>・オープニング→結論：やや問題あり <p>金平キャスターがオープニングで「権力を持つ上の人間から理不尽な指示を受けて過ちをおかす。日大アメフト部の出来事がこれほど関心を集めているのは、自分の周りでも似たことがあるなという思いが共有されているからではないでしょうか。森友加計自衛隊日報も同じ構造のような気がします皆さんはどうお考えでしょうか。」とコメントしていた。このシーンは 20 秒間あった。なお、日大アメフト部、森友学園問題、加計学園問題については番組内で取り上げられていたが自衛隊日報問題についてはこの番組内では取り上げられていなかった。やはり「同じ構造のような気がします」といい「みなさんはどうお考えでしょうか」と言う以上はここで言及した問題については番組中で取り上げるべきであり、番組内では取り上げられていない自衛隊日報問題についても「同じ構造」と断じるのは一方的であり、放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点に照らすとやや問題があるといえる。</p> </li> </ul>		

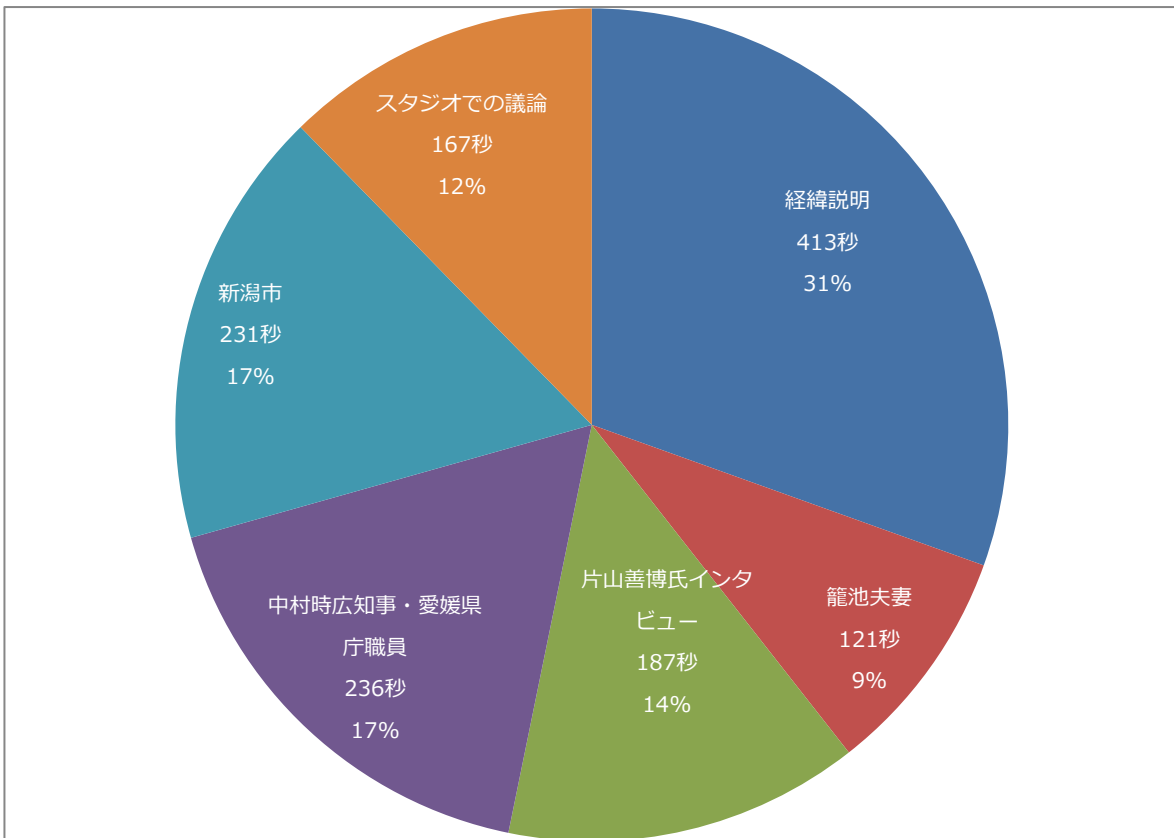
・森友、加計学園問題：結論→特に問題なし

このトピックについては速報と特集で取り上げられていた。

速報では加計学園の「当時の関係者に記憶の範囲で確認したこととして獣医学部の計画が停滞する中、構造改革特区から国家戦略特区を用いた申請に切り替えれば活路が見出せるのではないかとの考えから、当時の担当者が実際にはなかった総理と加計理事長の面会を引き合いに出し、県と市に誤った情報を与えてしまったように思うなどとしています。また関係者の皆様にご迷惑をおかけしてしまったことについて深くお詫び申し上げます」というコメントを出したことが報じられた。

また特集では加計学園問題と森友学園問題が取り上げられていた。

このトピックでは経緯説明の他に、森友学園の籠池夫妻、公文書管理について元自治官僚の片山善博氏へのインタビュー、加計学園問題について中村時広愛媛県知事へのインタビュー及び愛媛県職員の声、新潟市での獣医学部構想について、スタジオでの議論という大きく6つのポイントがあった。このトピックについて当てられた時間は1355秒で時間配分及び比率は以下の通りである。



経緯説明では速報で報じられた加計学園のコメントほか、今週水曜日に財務省が当初はないとしていた森友学園への国有地売却をめぐる文書を衆議院予算委員会に提出したこと、文書は交渉記録合わせて4000ページに登ること、文書には谷氏が財務省に2度にわたり問い合わせをしていたことが記録されていたことが伝えられるとともに、国会での長妻昭「これ新たな文書が出たんですよ。ここに書いてあるのが事実だとすると、総理夫人に直接紹介があったと。そして優遇を受けられないかと。」という質問に対して安倍総理が「新しい話ではなくてですね、私の妻は籠池氏から何度か留守番電話に短いメッセージをいただいていたが具体的な内容については全く聞いていなかった。妻もほとんど電話に出ていないというのも事実でありまして、それと変わりがないんだろうと。」と答えるシーンが取り上げられていた。また、財務省の文書については富山一成理財局長の「昨年2月下

旬以降、国会答弁との関係で決済文章を書き換えていたのと同様に、同時保管されていた交渉記録の廃棄を進めていたことも認められました。」というコメントや麻生財務大臣の「これまで国会に事実と異なる報告をしていた。ということは大変申し訳なくおわびを申し上げる次第だということでもあります。」というコメントが取り上げられていた。また加計学園については加計学園の獣医学部の新設をめぐり、愛媛県が作成した報告書いわゆる愛媛文書では 2015 年 3 月 3 日に行われた加計学園と愛媛県との打ち合わせ会で加計学園から「2 月 25 日に理事長元首相と面談。首相からはそういう新しい獣医大学の考えはいいねとのコメントはあり。」という報告があったことが記載されていたことが報じられたほか、これ事実だとすれば安倍総理は 3 年前に加計学園の獣医学部新設計画を知っていたことになるということが伝えられたほか、愛媛文書が明らかになった翌日の「ご指摘の日に加計孝太郎理事長とお会いしたことはございません。」という総理の答弁が取り上げられていた。

籠池夫妻に焦点の当てられたシーンでは以下に朱記したやり取りが VTR で取り上げられていた。

ナレ「昨日午後 5 時過ぎ大阪拘置所から保釈されたのは学校法人森友学園の前理事長籠池泰典被告と妻の諄子被告だ。夜には夫婦で会見に臨んだ。」

籠池泰典(森友学園前理事長、籠池泰典被告)「ようやく拘置所から出してもらったなという感じがあります。長いなあ。皆様方 300 日間と言うと、まだ 1 年経ってへんのかという風に思ってたんですけども、非常に苦痛であります。これから活躍させてもらわなあかなというふうに思っております。」

ナレ「学園の建設を巡り国の補助金などをだまし取ったとされる罪について、自身の認否は明言しなかったが。」

籠池泰典「大丈夫？よう頑張ってる。冤罪や。私を貶めるのは結構ですけども、家族である家内までわざわざ引っ張り上げて拘置所にぶち込んだということは民主主義国家の日本にとって考えられないことであります。」

ナレ「泰典被告が語気を強めたのは森友学園に関する決裁文書の改善について聞かれた時だった。」

籠池泰典「ああいうのは国民の財産でしょ？公文書というのはね？そういうものを書き換えることという自身は、国民のサーバントであるところの国家公務員がすべきことではない。絶対したらいけないことなんです。それは国民に対する背信です。」

片山善博氏へのインタビューは二つの VTR が取り上げられており、それぞれ、以下に朱記したやり取りが取り上げられていた。

#### 【片山善博氏インタビュー①】

膳場「やり方が本当に今まで見ないような、見たことがないようなやり方ですね。」

片山「これ本当にひどいことです。役人としてね、絶対そんなことやっちゃいけないですよ。ですから、あの一死に値するって言葉ありますけどね、私これに携わってき達って本当に愚かだし、犯罪的だと思いますよね。政府がちゃんとしたことやってるのか、それとも間違った事やってるのかわからないまま選挙をしたりすることになりますよね。民主主義社会本当に根底から否定するような仕業だと思います。」

ナレ「官僚たちが公文書を軽んじる背景には歪な安心感があったと考えている。」

片山「平気で強弁張ってあんなことを言ってる時に当時誰も咎めなかったですよ。財務大臣も総理も官房長官も誰も咎めなかったですよ。だから政権全体としてそれを良しとしたわけですよ。挙句の果てに彼はそういう答弁をしながらも、国税庁長官に昇進したわけですよ。そういう意味であんな答弁をしても大丈夫なんだというような、妙な確信とか安心感があったんだろうなと思いましたね。」

#### 【片山善博氏インタビュー②】

ナレ「森友加計問題は 1 年以上国会で議論されている。それでもなお事実は判然としない。その根底には公文書本来の役割に目が向いていないことがあると片山善博氏は指摘する。」

片山「公文書は今日の国民の皆さんに説明をするという材料でもありますけども、後世の国民にちゃんとその説

明するっていうのもあるんですよね。この時はこういう理由で決めたんですってことが明らかにされなければいけないですよね。だから後世への責任ってことを肝に銘じていかなきゃいけないですよね。今繰り広げられてるね、なんかもう将棋で言うと詰んでいるんですけど、それを潔く投了しないで、ずるずるずるずるまだひょっとしたら持ちこたえられるかもしれないと思ってやられてるのを見ますとね、あの世間もうちょっとシラケてくるし呆れてくるし、一方ではそういうことが許されるんだと、そういう風な悪影響も与える可能性があると思うんですよね。やっぱり国民に範を示すそういう立場の人達ですから、もっときちっと身を処さなきゃいけないと思いますけどね。」

中村時広愛媛県知事へのインタビューおよび愛媛県職員の声では以下に朱記した様子が VTR で取り上げられていた。

ナレ「だが官邸の記録は既に廃棄され、面会の有無は確認できないという。事実はどうなのか私たちは愛媛県の中村時広知事に今週水曜日に聞いた。」

金平茂紀「何が本当のことがよくわからないような状況になってるんでね。」

中村時広知事「国会に提出したので要請に基づいて後は国会で議論するべきだと思います。ただ言った言わないっていうのに我々がなぜ引きずり込まれなきゃいけないのかよく分からないし、真面目に正直にやってるだけなんです。常識的に考えれば記録ない、記憶ない、上に報告してないことははっきり覚えてる。誰も納得しないと思います。それはたぶんご本人も分かっているんじゃないかなと。」

ナレ「愛媛文書には加計学園の報告として理事長が総理と面談した後総理秘書官の柳瀬氏から改めて資料を提出するよう指示を受けたと記されている。さらにその後の柳瀬氏との面談記録もある。首相案件と述べたとされるその面会について、柳瀬氏は記憶にないと否定してきたが今月 10 日になって一転面会は認めた。」

金平「国が嘘をついているのか、それとも愛媛県が嘘をついているかみたいだね。昨日の文章出た後に一様に否定されていますからね。」

中村「私共は嘘ついてません。一つ言えることは、偽りの話をしたら、いつまでもそれを塗り固めなければならなくなる。それは大変なことじゃないかというのは間違いない。」

ナレ「私達は総理と面談したと加計学園から報告を受け、愛媛文書の作成に関わった当時の県職員に話を聞いた。職員 A「私は今は担当ではないので何も申し上げられません。ただ知事がおっしゃっている通りです。知事は嘘をついていません。」

職員 B「加計学園の方と県庁であったことは覚えています。しかし 3 年も前なので会話の内容は本当に覚えていないんです。覚えているのは、当時構造改革特区で何度出してもダメで加計学園側が行き詰っていたことそれは覚えています。これまで仕事をしてきて、作り話が嘘が書かれた報告書を上にあげるなんて、そんなことはありえません。県の職員は皆真面目ですから。」

ナレ「県の報告書が国に否定されるという事態をどう見ているのか。」

職員 B「もうね、なるべくニュースは見ないようにしているんです。みんなで頑張っってせつかく新しい学部を作り上げたんだから、全部本当のことを話したらいいじゃないって思います。そんな今更会ってないとか嘘をついたってしょうがないじゃないですか。全部正直に言ったらいいのになって思いますね。」

なお、愛媛県知事や愛媛県職員の声を拾う一方で、加計学園の担当者に取材をしたものの「学園で対応しているので私からは話せない」と取材が断られたことも合わせて伝えられていた。

新潟での獣医学部構想については VTR で以下に朱記した様子が取り上げられていた。

日下部正樹「ここ新潟市も国家戦略特区の一つに指定されていて、ここでは農業について様々な取り組みが行われているんですよね。例えばこの田んぼの中にそびえ立つレストラン。農家レストランと言って農地利用をめぐる

ですね、規制緩和によって初めて実現したものです。」

ナレ「国家戦略特区として農業改革に取り組んでいる新潟市。この春開講した農学系大学で以前獣医学部設置の構想があったという。」

日下部「今年開校したこの大学の獣医学部設置に向けた動きについては、一般的にはほとんどを知られることはなかったわけですがけれども、愛媛県が公表した文章を読みますと、加計学園側が相当この新潟の動きに神経を尖らせていたことが分かります。」

ナレ「獣医学部設置の構造について当時の経緯を知る新潟市の職員に話を聞いた。」

齋藤和弘(新潟市ニューフーパレード特区課課長)「新潟の事業者ですね。検討されてる方がいらっしゃいましたので、こういった部分について獣医学部の新設についても今後検討したらどうかって提案したことはございません。」

ナレ「最初に話が持ち上がったのは私が国家戦略特区に指定された 2014 年。内閣府との会議で検討項目の一つとして新潟市が提案した。しかしその後、事業者から獣医学部についての具体的な話がなく、話が先に進まなかった。」

日下部「愛媛の文書とかを読むと非常に細かく国との対話みたいなものがあるんですけど市や自治体もこういうメモは残す？」

齋藤「そうですね私共内閣府の方と色々な議論させていただくんですけども、議事録みたいなものは作っていませんね。」

日下部「官邸の方とは一度も特区に関しては？その必要性も感じなかった？」

齋藤「一般の職員レベルが官邸に行くなんて通常ありえないんで。」

ナレ「愛媛文書には新潟市の状況について、内閣府、藤原地方創生推進室次長の発言が記録されている。」

文書(音声)「新潟市の国家戦略特区の獣医学部の現状はトーンが少し下がってきており、具体性に欠けていると感じている。」

ナレ「その上で愛媛県の担当者等に対し」

文書(音声)「かなりチャンスがあると思っていただいて良い。」

日下部「トーンが少し下がってきている。具体性が欠けていると。」

齋藤「その具体がまとまってないっていう部分は内閣府とはお話してましたので、そういった部分で内閣府の方がそういう風になにに捉えられたのかなと思っています。」

日下部「非常にこう新潟を意識したね、文書が何枚もあるわけですけど、正直、どう受け取られました？」

齋藤「ちょっと他の区域の所ところについては、あんまりコメントするようなこともないんですけども、あのその国家戦略特区の中でですね一行だけとか一箇所だけってのは本来の目的と若干違うんじゃないかなという風には感じています。あの将来的にはその全国に経済的な波及効果があるようなものを、実験的にやられるってことが重要だと思っていますので、そういった部分で今回の獣医学部についてはちょっとどうなのかなっていう思いがありました。」

スタジオでの議論では特集の冒頭と VTR を承けてで以下に朱記したやり取りが繰り返された。

#### 【冒頭】

膳場「特集は森友加計問題を巡る公文書について考えます。」

金平「無いと言ってしまった国会答弁に合わせて財務省が重要文書廃棄していたという衝撃の事実が今週明らかになりました。一方で新たに提出された愛媛県文章には総理と加計理事長が面談したとの記載までありましたが、一体何が嘘で何が真実なのでしょう。」

## 【VTR を承けて】

膳場「VTR にもありましたけれども加計学園は愛媛文書にある理事長と総理の面談について否定してるんですね。そしてつい先ほどなんですけど加計学園から新たなコメントが出ました。ニュースでお伝えしているように当時、獣医学部設置の動きが停滞していて、打開策を探す中で加計学園の担当者が実際にはなかった総理と理事長の面会について、県と市に誤った情報を伝えてしまったと思うとしています。加計学園は不適切だったと謝罪しているんですが、これ本当ならば偽った情報に基づいて結果的に認可や補助金を受けるに至ってるって事になりますよね。」

日下部「1枚のコメントで済む話じゃないですよ。片山さんが、官僚が公文書を軽んじる背景としてですね、妙な安心感があるとおっしゃっていましたが、咎めるべきことを総理も大臣も咎めないからそれを良しとしてしまう。これは戦前の軍の官僚と一緒になんですよ。誰も咎めないから暴走して文章を改ざんして情報を捻じ曲げて、戦争に負けるとわが身を守るためにですね大量の公文書を焼却してしまう。今日本で起きていること、どう違うのかちょっと暗澹たる気持ちになりますね。」

金平「加計学園側の新たなコメント、取材が必要ですよ、本当なのかどうなのか。籠池夫妻が300日も拘置されていた理由の一つは証拠隠滅のおそれがあるとのことだったんです。じゃあ財務省が公文書を改ざんしたり、あるいは廃棄したというのはこれ証拠隠滅じゃないんですかと問いかけてくなりますが、話を聞いた愛媛県の中村知事がですね実は日大のアメフト事件のことを二重写しながらですね、嘘の話をしたらいつまでも嘘で塗り固めがなくなるとおっしゃってたんなんですが、実際今のようにモラルハザードが長く続くそうですね、片山さんが言ったように後世の責任という言葉ですね、非常に重くずしんと響くと思いますね。」

森友問題や加計学園問題についてということで、籠池夫妻の会見、公文書管理について片山善博氏へのインタビュー、愛媛県側の主張、加計学園問題について獣医学部構想のあった新潟市への取材など様々な角度から問題に切り込んでおり、また時間配分についても偏りはなく放送法第四条という観点からは概して問題はなかったと言える。加計学園側の立場については冒頭の速報のみであり特集内ではほとんど取り上げられていなかったが、それは学園で対応しているという理由で担当者が取材を断ったという事情もあり、加計学園側の立場や意見を伝えるものがほとんどなかったのは致し方ないものと言える。

・日ロ首脳会談：結論→特に問題なし

ロシアを訪問している安倍総理はサンクトペテルブルクを後にし先ほどモスクワに到着したこと、この後女子フィギュアスケート金メダリストのザギトワ選手に秋田犬を贈呈するセレモニーに立ち会う他、プーチン大統領との21回目の会談に臨むこと、会談では北朝鮮の核やミサイルの問題への対応や北方領土での共同経済活動などについて議題となる見通しであることが報じられた。このトピックについて当てられた時間は30秒で、放送法第四条の見地に限って言えば特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・加計学園、森友学園問題：結論→問題あり

番組の構成について、加計学園のコメントを速報として取り上げる一方で、他のトピックを挟み、時間を空けた上で加計学園・森友学園問題についての特集を取り上げ、その特集の中では愛媛県知事・愛媛県職員のインタビューやコメントを紹介する一方で加計学園からは取材を断られた様子を報じていた。しかし、速報で取り上げられた「当時の関係者に記憶の範囲で確認したこととして獣医学部の計画が停滞する中、構造改革特区から国家戦略特区を用いた申請に切り替えれば活路が見出せるのではないかとの考えから、当時の担当者が実際にはなか

った総理と加計理事長の面会を引き合いに出し、県と市に誤った情報を与えてしまったように思うなどとしています。また関係者の皆様にご迷惑をおかけしてしまったことについて深くお詫び申し上げます」というコメントは中村時広知事へのインタビューや愛媛県職員の声と対応する内容であり、加計学園が内部で確認した上でこうしたコメントを出したにもかかわらず、愛媛県知事や県職員とのコメントなどに焦点を当てたシーンではコメント発表前の加計学園に取材を断られた様子だけを取り上げていた。確かに、加計学園が今回の取材に応じなかったのは事実であるだろうし、速報では加計学園のコメントを取り上げているので、報道としては事実には反していないが、こうした構成では加計学園の立場や意見が愛媛県に比べると視聴者に伝わりにくいものとなっている。外形上は体裁が整っているだけに、こうした番組編成をすることによる印象操作は悪質なものであると言える。

#### 検証者所感

##### ・加計学園、森友学園問題

スタジオでの日下部キャスターの「片山さんが、官僚が公文書を軽んじる背景としてですね、妙な安心感があるとおっしゃっていましたが、咎めるべきことを総理も大臣も咎めないからそれを良しとしてしまう。これは戦前の軍の官僚と一緒にですね。誰も咎めないから暴走して文章を改ざんして情報を捻じ曲げて、戦争に負けるとわが身を守るためにですね大量の公文書を焼却してしまう。今日本で起きていること、どう違うのかちょっと暗澹たる気持ちになりますね。」という発言であるが、そもそも戦前の軍官僚で「誰も咎めないから暴走」というのは相沢事件や 5.15 事件、2.26 事件を始めとして軍部内で流血の伴う事件やクーデター計画などが相次いでいたことを踏まえると統制や肅軍ができていなかったとは言えても、「誰も咎めないから暴走」とはかなり様相が異なっていたというのが実態であろう。また、現代日本において例えば閣僚や中央省庁の局長クラスの高級官僚が、若手中堅のキャリア官僚あるいはノンキャリア官僚に白昼執務室で斬殺されたり、若手自衛官が政界官界の要人を襲撃したりする、というのはとても考えられないだろう。しかし、昭和の戦前期においてはこうしたことが現実に起きていたのであり、そうした時代と比較して「今日本で起きていること、どう違うのかちょっと暗澹たる気持ちになりますね。」などとコメントするのは歴史に対してあまりに無知ではないだろうか。公文書を軽んじるといえば社会保険庁の不祥事などもあったが、そうした事例に当たるまでもなく一足飛びに戦前と結びつけるというのはいかがなものなのだろうか。